学校番号	２１０１

平成３１年度　英語科

教科	外国語	科目	C 英語Ⅱa	単位数	2 単位	年次	2 年次以上
使用教科書	Vivid English Communication　Ⅱ　（第一学習社）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・教科書本文を正確に音読できるようにする。
・教科書の内容について英語の問いに簡単な英語で答えることができるようにする。
・文法項目に関しては家庭学習で復習を必ずし定着をはかる。

2　学習の到達目標

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
ジェスチャーを交え、アイコンタクトをとりながら、日常の挨拶をかわすことができる。　買い物やレストランでのオーダー、道案内等を簡単な表現で行うことができる。	授業中の発音評価 授業への参加度	自己紹介文を簡単な英語で書くことができ、他の自己紹介を聞いて、その情報を簡単にメモすることができ、テキストリーディングを聞き簡単な質問への答えを単語で書くことができる。	ノート・プリントチェック	問題が発生している場面での会話を聞き、問題の原因は何かを簡単に推量することができる。	リスニングテスト	教師の後についてﾌﾙｾﾝﾃﾝｽあるいは語句数語を適切な声の大きさ及びスピードで読むことができる。文章を理解して、適切な場所でポーズを置くことができる。	授業中の音・リーディング評価

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 1 (12 時間)	Lesson1 Pictograms Useful Signs on Streets	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		ピクトグラムがもつ役割や特徴について読み取らせる。	大意把握ができているか、セクションごとの内容に関しての T/F に答える。	問いかけに対して、積極的に返答ができているか。	ワークシートにて取り組み状況を判断する。
		「外国語表現の能力」			
		・新たなピクトグラムのアイディアを発表させる。	本文内容に関連したテーマで，新たなピクトグラムのアイディアを英文でまとめて発表させる。	発表を聞いて理解することで，コミュニケーション活動ができているか	言語活動を観察する。
		「外国語理解の能力」			
		・外国の人々にも正確に伝わるピクトグラムのメッセージ性について自ら考えさせる。	多くのピクトグラムに共通する特徴を読み取らせる。	積極的に取り組んでいるか。	評価問題
		「言語や文化についての知識・理解」			
		進行形・受け身，S＋V＋C(＝現在分詞・過去分詞)，seem to ～を理解し，文を作ることができる。	本文中で用いられている意味や用法を確認する。	文法事項の基礎が理解できている。	小テスト・定期テストの筆記テストにおいて知識が身についているか判断する。
Lesson 3 (12 時間)	Lesson3 Origami Is Not Just a Piece of Paper!	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		折り紙の歴史と発展について読み取らせる。	大意把握ができているか、セクションごとの内容に関しての T/F に答える。	問いかけに対して、積極的に返答ができているか。	ワークシートにて取り組み状況を判断する。
		「外国語表現の能力」			
		日本の伝統的な遊びについて発表させる。	本文内容に関連したテーマで，日本の伝統的な遊びについて英文でまとめて発表させる。	発表を聞いて理解することで，コミュニケーション活動ができているか。	言語活動を観察する。
		「外国語理解の能力」			
		折り紙のもつ可能性について自ら考えさせる。	折り紙が今後どのように発展していくかを考えさせる。	積極的に取り組んでいるか。	評価問題
		「言語や文化についての知識・理解」			
		It is＋形容詞＋that-節，S＋V＋it＋C＋that-節，S＋V＋O＋O(＝名詞節)を理解し，文を作ることができる。	文中で用いられている意味や用法を確認する。	文法事項の基礎を理解できている。	小テスト・定期テストの筆記テストにおいて知識が身についているか判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson5 (12 時間)	Lesson5 The Doctor in the Stomach	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		内視鏡とカプセル型ロボットの発展と，それらの利点・欠点を読み取らせる。	大意把握ができているか、セクションごとの内容に関しての T/F に答える。	問いかけに対して、積極的に返答ができているか。	ワークシートにて取り組み状況を判断する。
		「外国語表現の能力」			
		新しい技術について発表させる。	本文内容に関連したテーマで，新しい技術に関する考えを英文でまとめて発表させる。	発表を聞いて理解することで，コミュニケーション活動ができているか。	言語活動を観察する。
		「外国語理解の能力」			
		医療技術の進歩や今後の展望について自ら考えさせる。	今後カプセル型ロボットがどのように進歩していくかを考えさせる。	積極的に取り組んでいるか。	評価問題
		「言語や文化についての知識・理解」			
		群動詞(受け身)，進行形(受け身)，関係副詞の制限用法，関係副詞の非制限用法を理解し，文を作ることができる。	本文中で用いられている意味や用法を確認する。	文法事項の基礎が理解できている。	小テスト・定期テストの筆記テストにおいて知識が身についているか判断する。
Lesson 7 (14 時間)	Lesson7 A Young Man in the Sea Who Made a Change	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		ジョン万次郎の生涯と，日米の架け橋として彼が果たした役割を読み取らせる。	大意把握ができているか、セクションごとの内容に関しての T/F に答える。	問いかけに対して、積極的に返答ができているか。	ワークシートにて取り組み状況を判断する。
		「外国語表現の能力」			
		渡航経験をもつ日本の偉人について発表させる。	本文内容に関連したテーマで，渡航経験をもつ日本の偉人について英文でまとめて発表させる。	発表を聞いて理解することで，コミュニケーション活動ができているか。	言語活動を観察する。
		「外国語理解の能力」			
		世の中に変化を起こすために自分に何ができるかを考えさせる。	自分の能力を生かして変化を起こすことについて考えさせる。	積極的に取り組んでいるか。	評価問題
		「言語や文化についての知識・理解」			
		S appear to 不定詞 It is 形容詞 that 節 関係副詞・仮定法過去の用法を理解する。	文中で用いられている意味や用法を確認する。	文法事項の基礎を理解できている。	小テスト・定期テストの筆記テストにおいて知識が身についているか判断する。